

令和 2 年度

河川教育研究交流会

令和元年度 河川基金助成事業 学校部門 成果発表会

「川」や「水」を素材とした教育的価値の創造

学校教育の中で、「川」や「水辺」を活用した様々な体験活動等を行うことで、子ども達の感性や理性を様々な面から育むことができます。

本河川教育研究交流会では、学校における河川教育の先進的な事例の発表等を行い、関係者間の情報交流等をはかります。

3月16日
から

オンデマンド
配信

土木学会継続教育（GPD）
プログラムに認定 3.4 単位

【講演】

「河川・水教育の意義や価値」

日本体育大学大学院教育学研究課長 角屋 重樹 教授

専門：教科教育学（理科教育学）

学位：博士（教育学）

称号：広島大学名誉教授

国立教育政策研究所名誉所員

職歴：広島大学教育学部助手、宮崎大学教育学部助教授、文部省初等中等教育局教科調査官

広島大学大学院教授教育学研究科教授

広島大学附属福山中・高等学校校長併任

広島大学副理事（附属学校担当）

国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部・部長を経て

日本体育大学大学院教育学研究科長

【コーディネーター】

関西福祉大学大学院 教育学研究科 金沢 緑 教授

公立小学校校長、他大学兼任講師などを経て現職 博士（教育学）

「ソニー教育財団常任理事」理数系教員養成拠点構築事業委員（JST）、FSTA

（Future Science Teacher Association）会長、文部科学省中央教育審議会理科

専門部会委員など歴任 NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 常任理事

著書に『新任担任のしごとシリーズ「理科授業の基礎基本」』『学習科学から初等理科教育への提言（共著）』等

後援
（順不同）

文部科学省、国土交通省、環境省

全国小学校社会科研究協議会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校社会科教育研究会、
全国中学校理科教育研究会、全国小中学校環境教育研究会、日本初等理科教育研究会

講演

『河川・水教育の意義や価値』



日本体育大学大学院
教育学研究科長
角屋 重樹 教授

専門：教科教育学（理科教育学）
学位：博士（教育学）
称号：広島大学名誉教授
国立教育政策研究所
名誉所員

パネルディスカッション
コーディネーター



関西福祉大学大学院
教育学研究科
金沢 緑 教授

学位：博士（教育学）
ソニー教育財団常任理事
理科系教員養成拠点構築
事業委員（JST）、FSTA 会長
文部科学省中央教育審議会理
科専門部会委員など歴任

視聴申し込み

河川財団ホームページより2月12日申込み受付開始
詳しくは河川基金ホームページをご覧ください。

令和2年度

河川教育研究交流会

プログラム

■主催者挨拶（公財）河川財団 理事長

■来賓あいさつ

国土交通省水管理・保全局 高村裕平河川環境課長

■講演 講師：日本体育大学 角屋重樹 教授

講演題目「河川・水教育の意義や価値」

■口頭発表（5校）

■パネルディスカッション

タイトル「河川教育を通じて育成された子どもの能力とみられた変容」

発表・パネラー：令和元年度優秀助成校の教員 5校

コーディネーター：関西福祉大学 金沢 緑 教授

コメンテーター：文部科学省初等中等教育局 長尾篤志主任視学官

■表彰式（優秀成果表彰と文部科学大臣賞の授与）

最も優秀な学校（幼稚園・保育園等）へ初の文部科学大臣賞を授与

■閉会の挨拶（公財）河川財団 河川総合研究所長

◆オンデマンド配信

令和3年3月16日（火）から令和3年3月30日（火）

◆参加費：無料

CPD 申請プログラム 3.4 単位

河川教育研究交流会は土木学会 CPD 認定プログラムです。

他団体への単位申請が認められないケースがありますので、他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。他団体のルールや運営方法については対応し兼ねます。

お問い合わせ先

公益財団法人河川財団

基金事業部 担当：益田、藤本、野海

電話：03-5847-8303

e-mail:kikin-toi@kasen.or.jp



公益財団法人

河川財団